

# さんむわくわく館だより

第2号 2023年1月11日発行  
NPO 法人教育サポートGAA

さんむわくわく館は、ほっとできる場所を見つけたいと思っている子どもや自分の時間を有意義に過ごしたいと思っている子どもたちの居場所です。昨年の秋口からは、未就学児童や中学卒業生の利用も始まりました。

## 子どもたちは、今……

さんむわくわく館の特色の一つにICT活用能力の育成があります。

市内小中学校で使用されているPCを一人に1台ずつ、micro:bitやMESH等のプログラミング教材もたくさん用意しています。

子どもたちは、これらの機材を使って、自由に作曲したり、イラストを描いたり、人感チャイムや自動点灯システムなどの実用に供するレベルのプログラムを書いたりしています。これからも、誰もが気軽に利用できる“居場所”として充実させていきます。

### 《わくわくプログラミング》

#### ロボットやセンサーモジュールを使った プログラミング講座を開催しました

市内小中学生を対象にロボット(mBot2)やセンサーモジュール(MESH)を使ったプログラミング講座(全5回)を10月と11月に開催しました。

参加した子どもたちは、目を輝かせて取り組み、自分で作ったプログラムでロボットやセンサーを楽しく操作していました。

終了時アンケートでも、全員が「機会があればまた参加したい」と回答するなど、とても好評でした。

現在、学校への出前講座や機器の貸し出し、教職員向け講習会の開催などについても検討しています。

#### [プログラミング教育とは]

「プログラミング的思考」を育み、「コンピューター等を上手に活用して身近な問題を解決したり、より良い社会を築いたりしようとする態度を育むこと」をねらいとしています。

(「小学校プログラミング教育必修化に向けて」より)

### 《わくわくホームワーク》

#### 在宅での学習支援を試行 しました

自宅で宿題や自学をされていて、解き方が分からなくて困る子どもがいます。

このような子どもに、在宅のままPCやスマートフォンアプリ(Zoom)を使ってアドバイスする在宅学習支援を実施しました。

今回は、全4回、木曜日の夕方、協力してくれた小学校2校の高学年児童を対象に実施しましたが、参加してくれた子どもたちからは、「分からないところを教えてもらえて助かりました」と好評でした。



## 外国ルーツの子どもたちに日本語学習の支援をしています

山武市では、最近毎月のように外国にルーツをもつ子どもの転入が続いています。GAAでは、そんな子どもたちの不安を少しでも減らしたいと日本語の学習や教科学習の支援をしています。

昨年9月からは、山武市教育委員会が、城西国際大学や千葉大学と進めている日本語教室の会場として、さんむわくわく館を提供するなどしています。

一人一人のスキルとペースを大切にすることで、子どもたちの日本語力が日に日に高まり、共に学べる楽しさや喜びを感じています。

さんむわくわく館

### 五つの理念

- ◇ **ほっとできる場所**  
みんなと過ごすことも、一人でゆっくり過ごすこともできます。
- ◇ **自分で決められる場所**  
週何日、いつ来ていつ帰るか、どう過ごすかなど自由に決められます。
- ◇ **チャレンジできる場所**  
好きなことややりたいことに時間と場所、施設・設備を使えます。
- ◇ **応援してもらえる場所**  
自分がどうしたいかを見つけることから、できるようになるまで、親身に応援してもらえます。
- ◇ **自分たちで創れる場所**  
みんなでアイデアを出し合い、日々の過ごし方を自分たちでプランできます。

### サポート内容

- ・ 学習(学び)支援
- ・ 基本的な生活支援
- ・ 食に関する学び
- ・ 日本語学習支援
- ・ バーチャルアウトリーチ  
(リモートによる相談)
- ・ 保護者相談支援

### 開館日時

月・水・木曜  
9時～19時

※祝日・年末年始  
夏・冬季休業日  
を除く

### 利用対象

0～18歳までの子どもとその保護者  
※未就学児は保護者同伴

### 利用料

無料  
※事前に登録と予約が必要

Supported by 日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION

さんむわくわく館は日本財団の助成を受けて活動しています

《お問い合わせ》

さんむわくわく館

0475(53)5976

(月・水・木曜日 9時～19時)

山武市成東 2553-1 (浪切不動産脇)

Email gaa.wakuwakan@gmail.com

